

平成19年度 フッ化物洗口普及モデル事業実施報告書

市町村名	大網白里町	郡市歯科医師会名	山武郡市歯科医師会
------	-------	----------	-----------

実施施設等				
基盤整備	保育所	幼稚園	小学校	中学校
9	0	0	1	0

1. フッ化物洗口に関する前年度までの経緯

母子保健事業全般において、フッ化物応用によるむし歯予防効果と安全性について普及啓発を行ってきた。特に幼稚園、保育所、小学校における歯科指導では保護者に対し、永久歯の保護を目的に、フッ化物応用によるむし歯予防の知識の普及に努めた。

また昨年度実施した幼稚園保育所(園)年長児の保護者を対象としたアンケート調査からは、フッ化物洗口の実施について98.3%が希望ありと回答し、その他フッ化物配合歯磨剤の使用率85%、定期的にフッ化物歯面塗布を受ける割合40%と、フッ化物応用によるムシ歯予防のニーズが高まっていることを認識した。

町においては、幼児健診(1歳半、2歳児、3歳児)でフッ化物歯面塗布を行っているが、その後のムシ歯予防対策は幼稚園、保育所(園)、小学校のはみがき教室のみとなり、フッ化物の応用は、家庭任せとなっていた。そこで、永久歯の保護を目的に、フッ化物洗口の実施について検討していたところ、本事業の通知があり、昨年小学校1校がスタートしたところである。

2. 推進体制づくりの経緯

実施事項	具体的な内容	評価
実施施設の募集 (希望調査)	山武郡市歯科医師会からの本事業実施施設の募集を受け、町内の各幼稚園、保育所(園)へ出向き、フッ化物洗口事業の説明並びに実施希望調査を行う。	10施設中9施設より希望があがった。 個別に説明することで、理解が得られたようだ。
担当課並びに各施設長、学校医関係へ協力依頼	山武郡市歯科医師会からの実施通知を受け、教育委員会・社会福祉児童課・山武郡市(医師会、歯科医師会、薬剤師会)大網ブロック代表・各施設長・各施設の医師、歯科医師、薬剤師へ協力依頼	個々に事業実施の説明並びに協力依頼を行い、事業実施の承諾並びに協力を得る。
フッ化物洗口事業研修会	2月21日(木)午前10時より 山武郡市歯科医師会主催、日本大学松戸歯学部社会口腔保健学講座教授の小林清吾先生を講師に「フッ化物洗口事業研修会」が東金市ふれあいセンターで開催された。 研修会終了後、フッ化物洗口体験あり。	歯科医師、教育委員会、小学校中学校の養護教諭、幼稚園保育所(園)の先生、市町担当課職員など多くの参加があった。
フッ化物洗口事業説明会	3月3日(月)午後3時より町保健センターにおいて、実施希望のあった施設担当者を対象に本事業の説明会を開催。 フッ化物洗口の実施方法についての説明後、必要物品注文票を配布、フッ化物洗口の体験を行う。	実施までの流れをパワーポイントで説明することで、イメージがつかめたようだ。

3. 施設における取り組み内容

施設①フッ化物洗口の継続実施(平成19年1月～) 増穂小学校・対象児童370名(全学年)・職員数25名		
実施事項	具体的な内容	評価
希望調査	4月9日(月)在校生370名に希望調査用紙を配布	在籍者数370名中、357名より希望があった。 希望率96.5%
在校生洗口開始	4月26日(木)、27日(金)平成19年度フッ化物洗口がスタート。週1回法により各日8クラスずつ、クラスごとに朝又は昼休みに実施している。 0.2%フッ化ナトリウム溶液を低学年は7ml、中、高学年は10ml口に含み、1分間の洗口を行う。 基本的にクラス担任へ一任し、実施しやすい方法で行っている。	昨年度からの継続実施につき、問題なく実施している。
新入生はみがき開始	4月16日(月)給食の開始にともない、新入生のはみがきがスタート	学校でののはみがきが習慣化され、職員の意識が向上した。
新入生洗口練習	4月23日(月)新入生の洗口練習開始 実際に使用する器具に水道水を入れて実施	クラス担任にとっても2年目になるので、問題なく実施している。
新入生洗口開始	5月17日(木)、18日(金)新入生の洗口開始 (写真1～3)	洗口練習をしていたのでスムーズに実施できた。
フッ化物洗口推進会議	1月22日(火) 学校歯科医師、教育委員会管理課主幹、増穂小学校校長、教頭、養護教諭、町健康介護課副課長、町歯科衛生士7名が出席し、次年度の実施について協議 日教組の反対活動により継続が危ぶまれたが、実施については、反対意見にも触れたうえで、保護者に選択してもらうことで合意	関係者間で問題を共有し、協議することで、共通理解が図れた。
入学説明会	2月4日(月) 次年度入学する新一年生の保護者を対象に町歯科衛生士より、フッ化物洗口事業の説明と洗口体験を実施。33名の保護者が参加 希望調査書の提出は入学式に設定(写真4、5)	保護者の理解を得るうえで、入学説明会での事業説明は有効であった。
卒業生へ啓発文の配布	3月14日(金) フッ化物洗口が終了する卒業生73名に対し、「今後のむし歯予防」について啓発文を配布	各家庭へ今後のむし歯予防について周知ができた。

施設 基盤整備 (平成20年度開始予定)			
①瑞穂幼稚園	園児数	144名 (対象 114名)	職員数 9名
②大網幼稚園	園児数	99名 (対象 42名)	職員数 9名
③増穂幼稚園	園児数	102名 (対象 50名)	職員数 9名
④大網木の花幼稚園	園児数	280名 (対象 210名)	職員数 25名
⑤白里幼稚園	園児数	58名 (対象 28名)	職員数 8名
⑥第一保育所	園児数	48名 (対象 30名)	職員数 9名
⑦第二保育所	園児数	91名 (対象 44名)	職員数 13名
⑧増穂保育所	園児数	104名 (対象 58名)	職員数 14名
⑨あさひ保育園	園児数	125名 (対象 60名)	職員数 22名
実施事項	具体的な内容		評価
実施希望調査	山武郡市歯科医師会からの実施施設の募集を受け、各施設へ出向き、実施希望調査を行う。		10施設中、9施設より希望があった。
実施通知	山武郡市歯科医師会から実施通知を受け、各施設長並びに関係機関へ協力依頼を行う。		個々に事業実施の説明並びに協力依頼を行い、事業実施の承諾を得る。
フッ化物洗口事業研修会	2月21日(木) 山武郡市歯科医師会主催、日本大学 小林教授を講師に「フッ化物洗口事業研修会」が東金市ふれあいセンターで開催された。 各施設の担当者並びに園歯科医師が出席		フッ化物応用の安全性や予防効果について共通理解が図れた。
フッ化物洗口事業説明会	3月3日(月)各施設担当者へ事業説明会を実施。フッ化物洗口の実施方法、必要物品注文票の配布、フッ化物洗口の体験を行う。 フッ化ナトリウムの取り扱いや小中学校での未実施理由について質問があった。(写真6)		担当者の理解が得られた。
保護者説明会 (木の花幼稚園)	3月19日(水)終業式終了後、園歯科医師と町歯科衛生士による在園児の保護者を対象とした保護者説明会を実施。 179名の参加あり。 説明会終了後、洗口体験を実施し、多くの保護者参加が得られた。(写真7、8)		フッ化物応用の安全性と予防効果について保護者の理解が得られた。

4. 問題となったこと・今後の課題とその対応について

日本教職員組合による「フッ素洗口ガイドライン」撤回を求める署名活動により、実施校の継続が危ぶまれたが、入学説明会や在校生の希望調査文章にメリットデメリット両意見を伝えた(掲載した)うえで、保護者に選択してもらうことで合意した。

教職員からも不安の声があがっており、定期的に専門家による研修等の必要性を強く感じた。今年度は、幼稚園保育所(園)の実施と、基礎を固める方向で準備をしているが、今後は小中学校での事業拡大が課題である。

学校関係者の理解を得るうえで、今後も定期的に専門家による研修会を開催してほしい。

5. 20年度以降の事業の予定・市町村事業としての予算化の有無

平成21年度予算計上済み。
平成22年度以降も必要最小限の予算確保に努めたい。

6. 活用した参考資料や文献

名 称	概 要	活用場面	費用や入手先等
フッ化物でむし歯予防 (リーフレット)	むし歯の進行、むし歯予防のポイント、フッ素の概要、フッ化物の応用について (12ページ)	入学説明会、保護者説明会、事業説明会、施設職員への説明会で配布	千葉県歯科医師会より無料配布
フッ化物洗口マニュアル	フッ化物洗口実践の手引き	事業説明会	千葉県歯科医師会より無料配布

7. 記録写真等

写真1

洗口の様子 (増穂小学校1年生)



写真2

洗口液配布の様子 (増穂小学校3年生)



写真3 洗口の様子

(増穂小学校4年生 日直の合図で開始)



写真4

増穂小学校入学説明会の様子



写真5

入学説明会での洗口体験



写真6

事業説明会(幼稚園保育所の担当者が集まりました)



写真7

保護者説明会(木の花幼稚園歯科医師 齋藤百代先生)



写真8

木の花幼稚園保護者説明会の様子



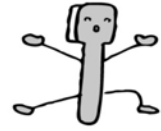
平成 20 年 3 月 14 日

卒業生各位

大網白里町保健センター



「今後のムシ歯予防～フッ化物洗口が終了となります～」



6年生の皆さん、また保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。

乳幼児期から皆さんにムシ歯予防について、お話をしてきましたが、いよいよ永久歯(大人の歯)の生え揃う時期となりました。

昨年1月から、永久歯をムシ歯にしないよう、先生方にご協力をいただき「フッ化物洗口」がスタートしました。

1年間実施していかがでしたか？新しい永久歯はムシ歯にならずに元気でいますか？

人間の歯が一番ムシ歯になりやすいのは、生えたてです。その為、永久歯は、4歳から15歳頃が最もムシ歯になりやすい時期となり、この時期一生懸命ムシ歯予防に取り組めば、その効果は大人になっても持続すると言われています。

まだまだ先の話ですが、老後も健康な歯で楽しく過ごすためには、今が一番大切な時期なのです。

今後は、「自分の歯は自分で守る」ために、つぎのことに取り組みましょう。

- * 食後は、歯を磨く(歯垢^{しこう}を落としてムシ歯や歯周病を防ぎましょう)
- * 間食は、日に1回程度にする(間食回数が多いとムシ歯になりやすい)
- * ジュースを水代わりに飲まない(ジュースは歯を溶かします)
- * 3ヶ月から半年に1回、歯科医院で検診を受ける(健康な歯を保つコツです)
- * フッ化物を利用する(ムシ歯菌に負けない強い歯質をつくりましょう)
- フッ化物^{しめんとふ}歯面塗布(年に数回、歯科医院で塗布してもらいましょう)
- フッ化物^{はいごうしまざい}配合歯磨剤(フッ化物の入った歯磨き剤を使用しましょう。歯科医院用を選ぶと、さらに効果的！)
- フッ化物洗口(歯科医院の窓口で購入し、家庭で使うことができます)



大網白里町保健センター TEL 7 2 - 8 3 2 1